



善教寺  
ZENKYO-JI

# 寺報

2017年(平成29年)

No. 255

# 2月号

Zenkyo-ji monthly  
Communications Paper  
E n [えん]

# 縁

前門さまが語る  
ここに豊かな生き方のヒント

大谷光真 著

人生は  
価値ある  
一瞬  
ひととき

不安や迷いは当たり前。  
背伸びせずに毎日を精いっぱい生きればいい。

浄土真宗本願寺派 前門



A6判／上製／232 頁  
定価:本体1,000円+税

本書の「まえがき」の中で、前門さまは「『人生を空しく終わってはならない、終わらせてはならない』ということが私の願いです。(中略)今さえ良ければ、自分さえ良ければという狭い思いを打ち碎く大切なはたらきを持った仏教を手がかりに、現代社会のさまざまな課題に、どう対処することができるかを考えてみました」と述べておられます。

専門的な用語は極力控え、生死の問題をはじめ、今回は特に若い人たちが抱えがちな問題(結婚、育児、職場の悩み等)や最近の社会背景にも関心を寄せながら、ご執筆いただいております。これまで仏教や浄土真宗にご縁の薄かった方にも是非お読みいただきたい一冊です。



墓苑予定地



墓苑予定地

墓苑(仮名)は、五つのエリア(永代合葬墓エリア・和スタイル墓エリア・洋スタイル墓エリア・プレート墓苑です。完成をお楽しみに。

ここ最近、「墓じまい(お墓を撤去し、近くの墓地や永代供養墓地に移転すること)」が多くなりました。お墓が遠くでお参り出来ない、不便な所にあるので行けない、継承者がいないので無縁墓になるのが心配、子どもに迷惑をかけたくないなど理由は様々です。

時々、こんな笑い話を聞きます。「お参り出来ないから、便利の良い場所へ墓を移したけど、お参りする回数は変わつてないわ」と。

善教寺墓苑(仮名)は、五つのエリア(永代合葬墓エリ

## 住職レター

善教寺墓苑(仮名)、かなり形が見えてきました。順調に造成工事が進んでおります。

『浄土と縁を結ぶ』をコンセプトに、美しい庭園をイメージした墓苑にしようと思つています。一番の特徴は、善教寺が存続する限り、

永代に渡りお護りすること。

代供養墓地に移転すること)が多くなりました。お墓

が遠くでお参り出来ない、不便な所にあるので行けない、継承者がいないので無縁墓になるのが心配、子ども

に迷惑をかけたくないなど理由は様々です。

〒739-0036 東広島市西条田口500-4  
TEL(082)425-1357 FAX(082)425-1248